



トラブルシューティング

- [「CUSP トレースのイネーブル化」](#)
- [「CUSP トレース ログ ファイルの参照」](#)
- [「トレース設定の指定」](#)
- [「技術サポート情報の参照」](#)
- [「トレース バッファの参照」](#)
- [「ログ ファイルの参照」](#)

CUSP トレースのイネーブル化

手順

- ステップ 1** [Troubleshoot] > [CUSP Traces] を選択します。
[CUSP Tracing] ページが表示されます。
- ステップ 2** システム上でトレースをイネーブルにするには、[Enable Tracing] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** 次の要素について、トレース コンポーネントを設定します。
- Base Tracing
 - Routing
 - Proxy-Core
 - SIP-Wire-Log
 - Normalization
 - Proxy-Transactions
 - SIP-Ping
 - License-Mgmt
 - Trigger-Conditions
 - Accounting
 - SIP-Search
 - Config-Mgmt

各コンポーネントについて、次のレベルの 1 つを選択できます。

レベル	説明
default	親のトレース レベルを使用します。
debug	重大度がデバッグまたはそれ以上のメッセージをログに記録します。
info	重大度が情報またはそれ以上のメッセージをログに記録します。
warn	重大度が警告またはそれ以上のメッセージをログに記録します。
error	重大度がエラーまたはそれ以上のメッセージをログに記録します。
fatal	重大度が重大またはそれ以上のメッセージをログに記録します。
off	メッセージをログに記録しません。

ステップ 4 [Update] をクリックして、変更を保存します。

関連項目

[「トラブルシューティング」](#) の目次ページに戻る

CUSP トレース ログ ファイルの参照

手順

- ステップ 1** [Troubleshoot] > [View CUSP Trace Log File] を選択します。
[CUSP Trace Log File] ページが表示され、CUSP トレース ログ ファイルの内容が示されます。
- ステップ 2** 別のページに移動するには、右矢印ボタンおよび左矢印ボタンを使用するか、または、別のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 3** トレース ログ ファイルの情報を保存するには、次の操作を実行します。
 - a. [Download CUSP Trace Log File] をクリックします。
 - b. 適切な場所にファイルを保存します。
 - c. 終了したら、[Close] をクリックします。

関連項目

[「トラブルシューティング」](#) の目次ページに戻る

トレース設定の指定

次の手順を使用して、Cisco Unified SIP Proxy システムのコンポーネントで、トレースをイネーブルにするか、メッセージ出力をデバッグします。コンポーネントは、システムにあるモジュール、エンティティ、およびアクティビティです。[Troubleshoot] > [View] > [Trace Buffer] を選択すると、出力を確認することができます。「[トレース バッファの参照](#)」を参照してください。

制約事項

イネーブルにするトレースが多すぎると、システムのパフォーマンスに悪影響を及ぼす可能性があります。

手順

-
- ステップ 1** [Troubleshoot] > [Traces] を選択します。
- システム コンポーネントの階層の一覧が示された、[Traces] ページが表示されます。
- ステップ 2** システム コンポーネントでトレースをイネーブルにするには、コンポーネントの名前の横にあるチェックボックスをオンにします。
- コンポーネントの一覧を展開するには、任意の上位レベル コンポーネントの横にある [+] 記号をクリックします。コンポーネントの一覧を折りたたむには、任意の上位レベル コンポーネントの横にある [-] 記号をクリックします。
 - 任意の上位レベルのコンポーネントの横にあるチェックボックスをオンにすると、そのコンポーネントの下にあるすべてのコンポーネントのトレースがイネーブルになります。任意の上位レベルのコンポーネントの横にあるチェックボックスをオフにすると、そのコンポーネントの下にあるすべてのコンポーネントのトレースがディセーブルになります。
- ステップ 3** [Apply] をクリックして、変更を保存します。
- ステップ 4** 確認ウィンドウで、[OK] をクリックします。
-

関連項目

[「トラブルシューティング」の目次ページに戻る](#)

技術サポート情報の参照

手順

-
- ステップ 1** [Troubleshoot] > [View] > [Tech Support] を選択します。
- [Tech Support] ページが表示され、設定データの集まりが示されます。
- ステップ 2** 技術サポート情報を保存するには、[Download Tech Support] をクリックします。
- ステップ 3** 適切な場所にファイルを保存します。
- ステップ 4** 終了したら、[Close] をクリックします。
-

関連項目

[「トラブルシューティング」の目次ページに戻る](#)

トレース バッファの参照

手順

-
- ステップ 1** [Troubleshoot] > [View] > [Trace Buffer] を選択します。
[Trace Buffer] ページが表示され、トレース バッファの内容が示されます。
- ステップ 2** 別のページに移動するには、右矢印ボタンおよび左矢印ボタンを使用するか、または、別のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 3** トレース バッファの情報を保存するには、次の操作を実行します。
- [Download Trace Buffer] をクリックします。
 - 適切な場所にファイルを保存します。
 - 終了したら、[Close] をクリックします。
- ステップ 4** トレース バッファをクリアするには、次の操作を実行します。
- [Clear Trace Buffer] をクリックします。
 - 確認プロンプトで、[OK] をクリックします。
-

関連項目

[「トラブルシューティング」の目次ページに戻る](#)

ログ ファイルの参照

手順

-
- ステップ 1** [Troubleshoot] > [View] > [Log File] を選択します。
[Log File] ページが表示され、ログ ファイルの内容が示されます。
- ステップ 2** 別のページに移動するには、右矢印ボタンおよび左矢印ボタンを使用するか、または、別のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 3** ログ ファイルを保存するには、次の操作を実行します。
- [Download Log File] をクリックします。
 - 適切な場所にファイルを保存します。
 - 終了したら、[Close] をクリックします。
-

関連項目

[「トラブルシューティング」の目次ページに戻る](#)